

# 令和4年度 こばとこども園 教育活動等に対する学校評価

名前( )

令和5年3月2日

1 こども園の教育目標 …

明るく素直な子

- ・思いやりのある子
- ・進んで運動や遊びに取り組む
- ・自分で考え、のびのび表現できる子

2 本年度の重点目標 …夢中になって遊ぶ子

※評価点 4(十分に成果があった、十分にできた) 3(成果があった、できた) 2(少し成果があった、すこしできた) 1(成果がなかった、できなかった)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価			学校関係者評価委員 御意見
		R2	R3	R4	
1教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	3.2	3.2	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね、良好と思います。</li> <li>・10の姿を小学校の教員にも配付します。こども園での子どもの様子、支援・指導の中身をもっと勉強する必要を感じた。</li> <li>・多くの計画や活動が、園の目標やグランドデザインとどのように関連しているのか、「10の姿」のように具体的な姿として職員が共通理解していく機会を大切にしていることがわかる。保護者への周知も必要になっていくと思う。</li> <li>・食育活動で学ぶことが多いと思う。小学校でも同じような活動があるので、ねらい等の確認が必要か？</li> <li>・「保育園寄りになったから～なのかな？」「元が幼稚園だから～なのかな？」とこの一年思ってしまうことが多々ありましたが、こども園として定着していくのには時間がかかると思いました。</li> </ul>
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	2.9	3.1	3	
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	3.4	3.4	3.4	
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	3.6	3.3	3.4	
	⑤子どもの生活や動き・思いを大切に環境構成を工夫している	3.6	3.4	3.4	
	⑥幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿や小学校との接続を意識している	3.3	2.9	3.1	
2保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切に、子どもの体調が悪くないか確かめている	3.9	3.8	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね、良好と思います。</li> <li>・コロナ禍では特に小さなお子さんは対応が大変だったことと思う。関わることで育つものはたくさんある。</li> <li>・安全面を考えてつい先回りをしているのは小学校でもやりがちです。トラブルの解決すればするほど成長すると思えます。「けんか、トラブル、大歓迎」と職員に話したことがある。</li> <li>・園内でお会いした先生方が明るい挨拶をしてくれた。だから、子どもたちも人見知りすることなく、挨拶を元気にしていた。</li> <li>・子どもたちへの個に応じた対応には、御苦労が多いと思うが、先生方の姿勢が子どもたちにとって大きな環境となり、豊かな成長に力を与えているのだと思う。</li> <li>・先生方が子どもたちのために一生懸命取り組んでくださっていることは日頃の様子からもよく分かります。これからもよろしく願います。</li> <li>・コロナ禍ということもあるかもしれませんが、朝の受け入れの際「～ちゃんおはよう」と抱きしめてくれたり、ハイタッチする姿があまりなく、割とクールな印象を受けました。スキンシップを取る中で、子どもの体調の変化だけでなく、気づくことは沢山あると思うので、大切にしてほしいです。</li> <li>・登降園の際、担任の先生以外の先生に「～ちゃん今日は～だったよね！」「昨日は～だったね！」と声を掛けていただくと園全体で見守り、保育をしていることが感じられ親として安心して嬉しく思っています。</li> </ul>
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	3.7	3.7	3.7	
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、子どもの自主性・自発性を大切にしている	3.4	3.4	3.3	
	④行事や活動を通して、子ども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	3	3.1	3.1	
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	3	3.1	3.3	
	⑥支援の必要なこどもの教育・保育について、園で定期的に話し合う機会を設け、個に応じた個別の支援計画を立てている		2.8	3.1	
3教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話し方や聞く力の向上を意識している	3.2	3.3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本は平等。しかし、(身体的・精神的に)特別な子は、特別な扱いをして欲しい。(2の6、3の②に共通)</li> <li>・保護者の方に園での子どもの事実を確実に伝えておくことはとても大事なことだと思う。学校でも同じで、それを怠ると、次に同じようなことがあった時、トラブルを生んでしまう。</li> <li>・先生方の学びたいという気持ちを大切に。時間的な制約が多いとは思いますが、十分研修できる時間を確保していくことを願います。</li> <li>・互いに学び合っていくための、開放された先生方の雰囲気作りを大切に、良いことも悪いことも言い合えることが、安心・安全につながっていくと思う。</li> <li>・前年度踏襲(古い慣習等)ではなく、コロナ禍で変わったよさを生かして、変えるべきは変えることも必要だと思う。</li> </ul>
	②子どもや、保護者との対応には、公平さやかかさなないように平等に接している	3.8	3.5	3.6	
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	3.7	3.6	3.7	
	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	3.3	3.3	3.2	

評価対象	評価項目	自己評価			学校関係者評価委員
		R2	R3	R4	御意見
3教職員としての能力や良識・適正	⑤子どものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	3.9	3.8	4.0	・3の⑤は素晴らしい。 ・子どもは事実の積み重ねで幸せを感じ成長していくと思う。それを見取っている先生方が素晴らしいと思う ・サッカーのまち藤枝。サッカーを中心としたまちづくりを進める藤枝市、子どもの未来を応援する藤枝市と交流してみたいか？ ・「今日～ちゃん、給食はじめての完食です！もう感動です！」と担任の先生が嬉しそうに報告いただいたとき、その姿に嬉しくなりました。
	⑥園の子どものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	3.3	2.9	3.3	・年齢による差もあるが、会話の中で、ニュースやスポーツなどを話題にできたよかったと反省しています。 ・ネットからの情報に偏りがちです。アンテナを広く持てるようにしたい。 ・日々を過ごすことで精一杯な状況。
4保護者への対応	①子どもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使って知りて保護者に適切に伝える	3.7	3.4	3.8	・保護者とのコミュニケーションは、保護者の信頼を得るために欠かせない。忙しいとは思いますが、今後も積極的にやってみよう。 ・「正しい日本語が使えているのか心配。気を付けたいと思う。」こう考えている先生がいることは素晴らしい。保護者に対してはもう先生方の使う日本語で学んでいると思う。 ・先生方の日々の御苦労が見えてくる。良いことや成長をこまめに見取って返していくことを「幸せのシャワー」と私は呼んでいる。
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	3.4	3.3	3.5	・傾聴すること、寄り添うことを大切にしている。自分ばかりが一方的に話すことがないよう気を付けている。 ・正しい日本語が使えているのか心配。気を付けたいと思う。 ・相手の話を最後まで聞くようにしている。
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	4	3.8	3.9	・会議資料は厳重に管理して処分するよう徹底している。 ・安易に子どものことを他者に話さないようにしている。
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	3.9	3.7	3.7	・保護者からの声はすぐに副園長もしくは主幹に伝えるようにしている。 ・伝えたいことがうまく伝わらず、保護者に不快感を与えてしまった。口頭での連絡だけでなく、紙面でものこすことも徹底したい。
5地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	3	2.9	2.7	・新しいことを取り入れることも多いので、常に確認するようにしています。 ・理解しておりますが、よみかみ説明できるか自信はない。 ・教育方針や取り組みを常に把握するよう心掛ける。
	②子どもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	3.6	2.6	2.6	・知らないことが多いので、情報収集に努めたい。 ・勉強不足である。理解を深めたい。 ・園の周りの施設について知らないことが多い。公園等の情報が持ち合わせていないので、アンテナを広く張りたい。
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2.7	2.6	2.3	・理解できていない部分も多いと思う。目を向けたい。 ・身近なところから調べていきたい。 ・情報が古いので、アップデートしていかないと。
6安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	3.6	3.5	3.6	・ヒヤリハットノートを作成し、職員会議や打ち合わせで報告し合うことで、同じようなことが起きないように対策ができていると思う。 ・ヒヤリハットノートを活用し、もっと書いていきたい。 ・日常の「危ない！」と思ったことを書いていきたい。
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	3.4	3.4	3.5	・救急車要請の訓練もできてよかった。 ・消防署への通報訓練を初めて体験した。一度経験しておくことで心持ちがかわってくと感じた。 ・常に資料等で振り返って風化しないようにしたい。
	③健康で安全な生活を守り育てるために、感染症対策等に自ら取り組み、子どもや家庭への啓発に努めている		3.5	3.6	・子どもたちにはコロナ対策の手洗いうがいなどの話はできたが、家庭への啓発までには至らなかった。 ・基本に立ち返って、継続していくことが大切だ。
	④閉じ込め・置き去り・取り残しなどないように人数確認を確実にしている			3.8	・事件をきっかけにより徹底して確認するようにしている。 ・他の先生がやってくれる ではない。進んで確認したい。 ・複数の職員が互いに声を掛けあって子どもたちの安全を守りたい。
7研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	2.9	2.8	3.0	・リモート研修が増え、以前より研修に参加しやすくなった。 ・他の施設の事も調べて、本園に取り入れるようにしている。 ・研修の内容を周りに広めるように努力している。
	②日々の実践を見合い検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	3	3.2	3.0	・子どもの姿に着目しての反省会に変更されたこともあり、保育者自身への課題指摘が減ってしまった。よくしたいというアドバイスは欲しいな。 ・接し方、声掛け、遊び方などに振り返るようにしている。
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	3.1	2.9	3.3	・話すことはあるが、時間が少ない。同じ学年でじっくり話す機会が学期に1度くらいは欲しい。 ・対処に困ったときは相談している。先生方はいつも親身になって対応してくれる。
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心をもっている	2.9	3.0	3.0	・趣味を通して施設にボランティア訪問している。 ・町内会や地域の催しには参加するようにしている。 ・プライベートでの時間がなかなか取れない。趣味に没頭できない。
	⑤パソコンやタブレット・スマートフォンなどのICT機器を前向きに活用し、教育・保育の充実に努めている		3.2	2.9	・パソコンなどが自在に使えるように、研修などに参加して勉強したい。 ・苦手だができるだけつかうように心掛けている。 ・バスターの連絡方法が現状に合わない部分がある。

<こども園の教育・保育をより充実していくための御提言>

・困っている子に対する個別支援、特別支援について職員で話したり、研修したりする機会をつくり、一人で抱え込むことのないようにしたい。  
・園の先生は若い女性が多い。よさもあると思うが、多様性を考え、男性や外国の方、熟練の女性等が増えることを望みます。(先生方の絶対数が増えるとういであらうね。)  
・働く女性が増えていくことを考えた時、駐車場確保は益々必要になっていく気がします。将来にわたって、駐車場を広げていく予定はあるか？  
・昨今、ニュースなどでも話題になりますが、職員の人数確保や労働時間の割合について見直していただき、先生方がより働きやすく、心身ともって子どもたちと接することができるように整備をお願いしたいと思います。今後コロナも明けて子どもたちも先生方も以前のようのびのびと暮らすようになり、しばらく制限されていたこともまたできるように変わっていくと思います。これからの教育活動を楽しみにしております。  
・入園して一年、娘が楽しく園生活を送れたのはこぼさず自由に伸び伸びと過ごせる環境づくりをしてください先生方のおかげです。本年度の目標になって遊ぶ子達成していると思います。